

aws **DEV DAY**  
ONLINE JAPAN

# DEV DAY

In Partnership with **intel**

20-22.10.2020

# AWS わからん人向け！ ググって開発する業務アプリケーション

NTT東日本 ネットワーク事業推進本部 設備企画部 長久保聡

# 自己紹介

- 長久保聡
- NTT東日本 ネットワーク事業推進本部 設備企画部
- ITエンジニア
- 経歴
  - 5年前まで、LAMP中心にモバイル等も開発、jQuery大好き
  - 5年前から、クラウドを中心にマイグレーション案件に従事
- 好きなAWSサービス
  - SQS



# 本日の内容

発表の概要

発表の目的

AWS初心者がググった時の問題点

AWS初心者の検索戦略

業務でどんな感じでググったのか  
その次へ



# 想定対象者

下記のような方を想定して発表いたします

AWSを触ってみたいがわからん方

AWSに関して初心者で聞ける人がそばにいない方



# 今日お話ししないこと

各種サービスの詳細



# お詫び

検索結果のキャプチャは使っていないのか判断がつかず断念しました、お許しください。



# 発表の概要

AWS初心者の方向けに業務アプリケーションを開発するノウハウをググって得る方法を発表させていただきます。



# 発表の目的

感動を伝えたい



# AWS初心者がググった時の問題点

AWSでwebページを公開する案件があるとします。  
どんなワードでググって情報収集しますか？



# 1. ミドルウェア名でググる

AWS apache

AWS nginx

このようなワードでググるとどうなるのか？

EC2に関するサイトが上位にヒットします

EC2とはAWSが提供する仮想サーバーです。



## 2. AWS ホームページ作成 でググる

### AWS ホームページ作成

このようなワードでググるとどうなるのか？

LightsailとS3に関するページが上位にヒットします

LightsailとはAWSが提供する仮想サーバーです。  
S3とはAWSが提供するオブジェクトストレージです。



# 3. AWS ウェブページやウェブサイトでググる

AWS ウェブページ

AWS ウェブサイト

このようなワードでググるとどうなるのか？

AWSでウェブサイトを構築するAWS公式のチュートリアルサイトが上位にヒットします。



## エンタープライズウェブホスティング

エンタープライズウェブサイトには、非常に人気の高いマーケティングおよびメディアサイト、ソーシャル、旅行、その他のアプリケーションに比重が置かれたウェブサイトなどがあります。例えば、Lamborghini、Coursera、Nordstrom は AWS を使用してウェブサイトをホスティングしています。エンタープライズウェブサイトは動的にリソースをスケールする必要があります。また、需要とトラフィックが非常に高いウェブサイトをサポートするために高い可用性が必要です。

エンタープライズウェブサイトは複数の AWS のサービスを利用し、通常は複数のデータセンター (アベイラビリティゾーンと呼ばれる) にかけて運用しています。AWS に構築したエンタープライズウェブサイトは可用性、スケーラビリティ、パフォーマンスのレベルが高いものの、静的ウェブサイトまたはシンプルなウェブサイトよりも多くの管理が必要です。

### 最適な用途

- 2 つ以上のデータセンターにわたって複数のウェブサーバーを使用するウェブサイト
- 負荷分散、Auto Scaling、外部データベースを使用したスケールが必要なウェブサイト
- 持続的に高い CPU 使用率が必要なウェブサイト
- ウェブサーバーの構成および管理に最大の統制と柔軟性が必要なお客様

Amazon Elastic Cloud Computing (Amazon EC2) をお試しください

# AWS のウェブサイトソリューション

## シンプルなウェブサイトのホスティング

通常、シンプルなウェブサイトは、WordPress などのコンテンツ管理システム (CMS)、Magento などの e コマースアプリケーション、LAMP などの開発スタックのいずれかを実行する単一のウェブサーバーで構成されています。ソフトウェアによって、ウェブサイトのコンテンツの構築、更新、管理、配信が簡単になります。

シンプルなウェブサイトは、トラフィックが小規模から中規模のサイトで、マーケティングウェブサイト、コンテンツウェブサイト、ブログなど、作者が複数でコンテンツが頻繁に変更されるサイトに最適です。将来規模を拡大する可能性があるウェブサイトにとって簡単な開始点となります。通常は低コストですが、これらのサイトにはウェブサーバーの IT 管理が必要であり、可用性が低く、多数のサーバーにスケールできるように設計されていません。

### 最適な用途

- WordPress、Joomla、Drupal、Magento などの一般的なアプリケーションに構築されたウェブサイト
- LAMP、LEMP、MEAN、Node.js などの人気の高い開発スタックに構築されたウェブサイト
- 5 つよりも多いサーバーにスケールする予定のないウェブサイト
- 独自のウェブサーバーとリソースを管理したいお客様
- 1 つのコンソールでウェブサーバー、DNS、ネットワークを管理したいお客様

Amazon Lightsail をお試しください

## シンプルな静的ウェブサイトホスティング

静的ウェブサイトは HTML、JavaScript、画像、ビデオなどのファイルをウェブサイト訪問者に提供するもので、PHP または ASP.NET など、サーバー側のアプリケーションコードは含まれていません。通常は私的なサイトまたはマーケティングサイトの配信に使用されます。

静的ウェブサイトは非常に低コストで、信頼性が高く、サーバー管理は必要ありません。また、追加作業を行うことなく、エンタープライズレベルのトラフィックを処理できるようにスケールできます。

### 最適な用途

- PHP または ASP.NET など、サーバー側のスクリプトが含まれないウェブサイト
- 作者が少なく、頻繁に変更されないウェブサイト
- ときどき発生する高いトラフィックのためにスケールする必要があるウェブサイト
- インフラストラクチャの管理を避けたいお客様

Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) をお試しください

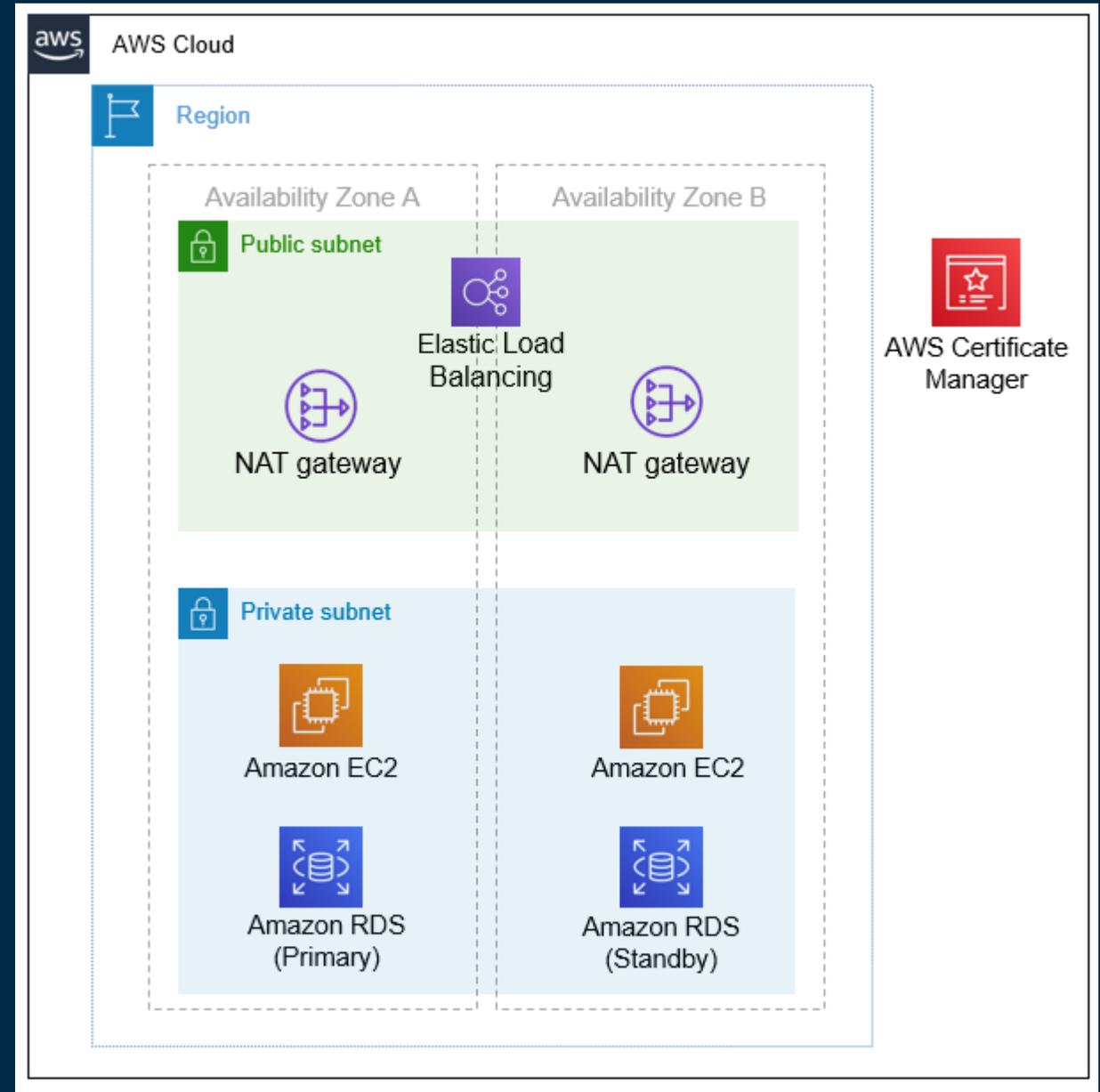
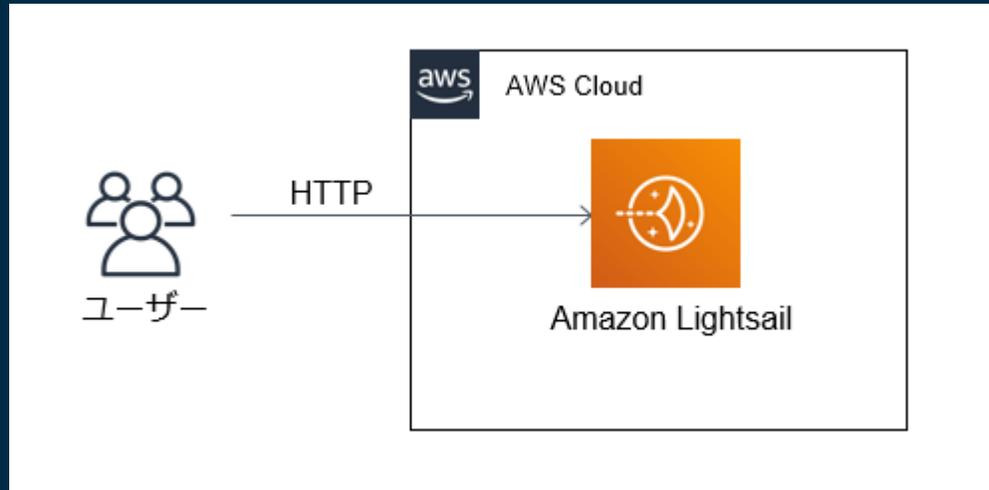
# 何が問題なのか？

適切なサービスが選択されない場合

コスト増や開発期間の増加があります。



# 具体例



# ではAWSの検索はどうすればいいか

AWSのサービスの全体像を理解し、的確な検索ワードで対応する。これが検索のベストプラクティスだと思います。



# AWS初心者の検索戦略

1. AWS 導入事例
2. AWS 目的別 構成図
3. AWS サービス名
4. AWS サービス名 制限事項
5. AWS クラウドサービス活用資料集





## 日本国内のお客様の導入事例

AWS クラウドをご利用いただいている日本国内のお客様導入事例をご覧ください。多種多様な業種や企業規模のお客様がどのようにクラウドを活用いただいているのか、また、AWS クラウドによってお客様のビジネスにどのような効果をもたらされたのかをご紹介します。





クラウド導入をお考えの方のための

# 30 の目的別 クラウド構成と料金試算例

[日本担当チームへのお問い合わせ »](#)

代表的な構成例

**ユースケース別の構成例**

関連リンク

アマゾン ウェブ サービス (AWS) は、世界中で数 100 万以上のお客様にご利用いただいております。開発環境としてはもちろん、ウェブサイト・ウェブアプリケーションからミッションクリティカルな社内業務アプリケーションにいたるまで、数多くの用途でクラウドが活用されています。

ここでは代表的な構成例のご紹介に加えて、様々な用途で必要となる AWS ソリューション構成例、試算例をユースケースごとにご紹介いたします。



ご相談に日本担当  
チームがお答えします



## ユースケース別の構成例

ご利用の多いユースケースのクラウド構成と料金試算例をカテゴリごとにご紹介いたします。  
※ご希望のユースケースを選択いただくと、各ユースケースに移動出来ます。



ファイルサーバー・  
Windows システム

▽



ビジネスアプリケーション

▽



仮想デスクトップ (VDI)

▽



Web サイト・Web アプリケ  
ーション

▽



ネットワークとコンテンツ配  
信

▽



バックアップ

▽



IoT

▽



機械学習 (AI/ML)

▽



ゲーミング

▽



ご相談に日本担当  
チームがお答えします

[お問い合わせはこちら](#)»

## Web サイト・Web アプリケーション

信頼性とスケーラビリティ、セキュリティに優れた、低コストのウェブサイトとウェブアプリケーション

### 基礎

シンプルな Web サイトをレンタルサーバーから Lightsail に移行した際の料金試算例



[構成図と料金試算を見る >](#)

### 基礎

イベント駆動処理に AWS Lambda を用いたサーバーレス構成と料金試算例



[構成図と料金試算を見る >](#)

### 応用

負荷状況に応じてスケールする動的 Web サイトのためのクラウド構成と料金試算例



[構成図と料金試算を見る >](#)

### 応用

動的 Web サイトのためのクラウド構成と料金試算例



[構成図と料金試算を見る >](#)

### 応用

会員制 Web サイトをサーバーレスに構築する場合のクラウド構成と料金試算例



### 応用

コンテナを利用した Web サービスでの Amazon ECS/AWS Fargate 利用構成と料金試算例



ご相談に日本担当  
チームがお答えします

[お問い合わせはこちら >](#)

[com/jp/edu](#)

他のユースケースを選択する ▼

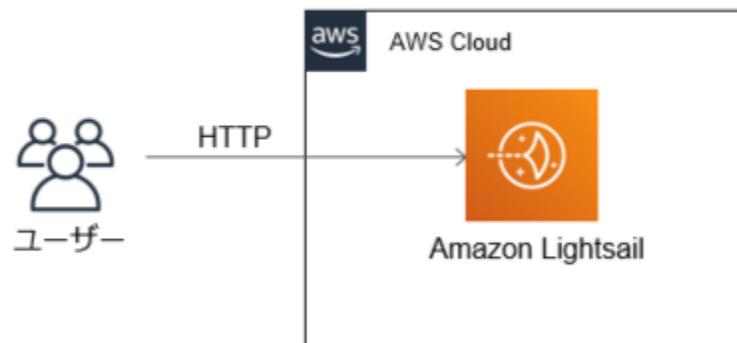
## AWS ソリューション構成例 - レンタルサーバーからの簡易 Web サイト移行

### 目的・用途：

柔軟な拡張が難しいレンタルサーバを使用した Web サイトを AWS クラウドを使うことで効率的な運用を実現したい

### この構成での料金試算例：

4 ドル (月額)



### 関連カテゴリ

Webサイト・Webアプリケーション  
に関するその他構成例 >



ご相談に日本担当  
チームがお答えします

[お問い合わせはこちら](#)>>

## この構成での料金試算例

サービス	項目	数量	単価	料金 (USD)
Amazon Lightsail	仮想サーバー	1 * 24 時間 * 30.5 日	3.50 USD/月(*1)	3.50
	通信量	7MB * 3,000 PV/日 * 30.5 日 / 1000 / 1000 ≈ 0.65TB		0.00 (*2)

月額合計料金：3.50 (USD)

※ 2020 年 5 月 23 日時点での試算です

- 東京リージョンでのご利用を想定しています

(\*1) 下記の仮想サーバー 1 台 を 1 ヶ月ご利用いただいた場合の費用になります。その他のタイプの利用料金については [こちら](#) のページをご覧ください

- メモリ 512MB
- 1 コアプロセッサ
- 20GB SSD ディスク

最新の料金を確認する >

日本担当チームへのお問い合わせ >





# Amazon S3

どこからでもお好みの量のデータの保存と取得が簡単に行えるオブジェクトストレージ

今すぐ Amazon S3 を始める

詳細をリクエスト

Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) は、業界をリードするスケーラビリティ、データ可用性、セキュリティ、およびパフォーマンスを提供するオブジェクトストレージサービスです。つまり、あらゆる規模や業界のお客様が、ウェブサイト、モバイルアプリケーション、バックアップおよび復元、アーカイブ、エンタープライズアプリケーション、IoT デバイス、ビッグデータ分析など、広範にわたるユースケースのデータを容量に関係なく、保存して保護することができます。Amazon S3 では使いやすい管理機能を使用するため、データを整理して、細かく調整されたアクセス制御を設定することで、特定のビジネスや組織、コンプライアンスの要件を満たすことができます。Amazon S3 は 99.999999999% (9 x 11) の耐久性を実現するように設計されており、世界中の企業向けに何百万ものアプリケーションのデータを保存しています。

AMAZON S3

S3 is exabytes and  
the #1 place for  
Data Lakes

Amazon S3 の紹介



# Amazon S3 のよくある質問

## ◀ ページの内容

全般

リージョン

請求

セキュリティ

耐久性とデータ保護

S3 Access Points

S3 Intelligent-Tiering

S3 標準 - 低頻度アクセス (S3 標準 - IA)

S3 1 ゾーン - 低頻度

## S3 全般についてのよくある質問

### Q: Amazon S3 とは何ですか？

Amazon S3 は、任意の量のデータの保存と取得をインターネット上のどこからでも行えるように設計されたオブジェクトストレージです。きわめて耐久性が高く、高可用性で、無制限にスケーラブルなデータストレージインフラストラクチャを非常に低いコストで提供するシンプルなストレージサービスです。

### Q: Amazon S3 でできることは何ですか？

Amazon S3 はシンプルなウェブサービスインターフェイスを提供しており、いつでも、ウェブのどこからでも容量に関係なくデータを保存および取得できます。このウェブサービスを利用すれば、インターネットストレージを使用するアプリケーションを簡単に構築することができます。Amazon S3 は高度にスケーラブルで、お客様は使用したものに対して支払えばよいので、性能または信頼性を犠牲にせずに、アプリケーションを望むとおりに拡張することができます。

また Amazon S3 は、高い柔軟性を持つようデザインされています。お客様が望むどのようなタイプ、分量のデータでも保存できます。同一のデータを何百回でも読み込むことができます。災害対策のための緊急用としてのみ使用する

## Amazon Simple Storage Service

開発者ガイド

Amazon S3 とは

はじめに

▶ リクエストの実行

▼ バケット

## 制約と制限

バケットを作成する例

バケットを削除するか空にする

バケットのデフォルト暗号化

▶ Transfer Acceleration

▶ リクエスト支払いバケットに、  
アクセスコントロール

▶ 請求および使用状況レポート

▶ アクセスポイント

▶ オブジェクト

ストレージクラス分析

▶ セキュリティ

▶ S3 バッチオペレーション

▶ 静的ウェブサイトのホスティング

▶ 通知

## バケットの制約と制限

PDF | RSS

各バケットは、それを作成した AWS アカウントによって所有されます。バケットの所有権は譲渡できません。

バケットの作成時にバケットの名前と作成先のリージョンを選択します。バケットの作成後はバケットの名前もリージョンも変更できません。

デフォルトでは、AWS アカウントにつき最大で 100 個のバケットを作成できます。追加のバケットが必要な場合は、サービスの制限の緩和を申請することによって、アカウントバケットの制限を最大 1,000 バケットまで引き上げることができます。使用するバケットの数が多いか少ないかにかかわらず、パフォーマンスに違いはありません。バケットの制限を引き上げる方法については、AWS 全般のリファレンスの「[AWS サービスのクォータ](#)」を参照してください。

## バケット名の再利用

バケットが空の場合は削除できます。バケットが削除されると、その名前は再利用できるようになります。ただし、バケットを削除すると、さまざまな理由で名前を再利用できない場合があります。たとえば、バケットを削除してその名前が再利用可能になると、別のアカウントがその名前でバケットを作成する場合があります。また、削除したバケットの名前が再利用可能になるまでに、しばらく時間がかかる場合もあります。同じバケット名を使用する場合は、バケットを削除しないことをお勧めします。

## オブジェクトとバケット

バケットに保存できるオブジェクト数に制限はありません。すべてのオブジェクトを 1 つのバケットに格納してもかまいませんし、複数のバケットに分けて整理してもかまいません。ただし、

## このページの内容

命名規則



# AWS クラウドサービス活用資料集トップ

アマゾン ウェブ サービス (AWS) は安全なクラウドサービスプラットフォームで、ビジネスのスケールと成長をサポートする処理能力、データベースストレージ、およびその他多種多様な機能を提供します。お客様は必要なサービスを選択し、必要な分だけご利用いただけます。それらを活用するために役立つ日本語資料、動画コンテンツを多数ご提供しております。(本サイトは主に、AWS Webinar で使用した資料およびオンデマンドセミナー情報を掲載しています。)

[AWS Webinar お申込 »](#)[\[NEW\] AWS 初心者向け »](#)[サービス別資料 »](#)[ハンズオン資料 »](#)

## AWSome Day Online Conference

「AWSome Day Online」は、AWS テクニカルインストラクターが主導するセッションを通じて、コンピューティング、ストレージ、データベース、ネットワークといった AWS の主要なサービスを段階的に学ぶことができます。また、AWSに関わる方への基礎知識として、請求、アカウントマネジメント、料金モデル等、実際の導入に向けた内容となっております。短時間で、場所を選ばずに学習したい方はぜひ、ご活用ください。

2020年10月7日(水) 15:00 - 18:00 [詳細・お申し込みはこちら »](#)

2020年11月4日(水) 15:00 - 18:00 [詳細・お申し込みはこちら »](#)

# AWS サービス別資料

サービス別の詳細情報を知りたい方はこのページより閲覧いただけます。

その他の資料は以下をご覧ください。

[初心者向けの資料](#) »

[ハンズオン資料](#) »

Explore by Category

Go

[AWS オンラインセミナースケジュール](#) »

[AWS クラウドサービス活用資料集トップ](#) »

## Compute

Service Name	Published Date	Title			
AWS Batch	2019/09/11	AWS Batch	<a href="#">SlideShare</a>	<a href="#">PDF</a>	<a href="#">Youtube</a>
-	2020/06/24	AWS Container Services Update	<a href="#">SlideShare</a>	<a href="#">PDF</a>	<a href="#">Youtube</a>
Amazon EC2	2019/03/05	Amazon EC2	<a href="#">SlideShare</a>	<a href="#">PDF</a>	<a href="#">Youtube</a>
Amazon EC2	2020/08/25	AWS EC2 Image Builder	<a href="#">SlideShare</a>	<a href="#">PDF</a>	<a href="#">Youtube</a>
Amazon EC2	2016/04/20	Amazon EC2 - Windows	<a href="#">SlideShare</a>	<a href="#">PDF</a>	
Amazon EC2	2016/11/22	HPC分野でのAWS活用	<a href="#">SlideShare</a>	<a href="#">PDF</a>	

# AWS初心者の検索戦略 おさらい

1. AWS 導入事例 → 課題をどういったサービスで解決したか確認する
2. AWS 目的別 構成図 → 一般的な構成パターンを把握
3. AWS サービス名 → サービスがどういったものか知る
4. AWS サービス名 制限事項 → ソリューションに適合するか最終確認
5. AWS クラウドサービス活用資料集 → 要点の復習

# 初心者お断り、禁断の検索ワード

「AWSクイックスタート」



© 2020, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

In Partnership with  intel.

# 業務でどんな感じでググったのか

まず、前提条件として検索戦略とは別に日々下記を購読しております

1. AWS 開発 blog
2. AWS ウェブマガジン



## Amazon Web Services ブログ



### Amazon Timestream であらゆる規模の時系列データを保存してアクセス – 一般提供が開始されました

by Danilo Poccia | on 05 OCT 2020 | in News | [Permalink](#) | [Share](#)

時系列は、物事が時間の経過とともにどのように変化するかを説明する非常に一般的なデータ形式です。最も一般的なデータソースには、産業機器と IoT デバイス、IT インフラストラクチャスタック (ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークコンポーネントなど)、およびそれらの結果を経時的に共有するアプリケーションがあります。時系列データの効率的な管理は、このデータモデルが汎用データベースに合わないことから容易ではありません。本日からの Amazon Timestream の一般提供をお知らせできることが嬉しいのは、これが理由です。Timestream は、1 日に数兆件もの時系列イベントを収集、保存、および処理することを簡単にする高速でスケラブルなサーバーレスの時系列データベースサービスで、リレーショナルデータベースよりも 1000 倍速く、コストもわずか 10 分の 1 です。これは、Timestream がデータを管理する方法によって可能になります。Timestream では、最近のデータがメモリに保持され、履歴データはユーザーが定義する保持ポリシーに基づいて、コスト最適化されたストレージに移動されます。データは常に、同じ AWS リージョン内にある複数の アベイラビリティゾーン (AZ) にまたがって、すべてが自動的にレプリケートされます。新しいデータはメモリストアに書き込まれます。メモリストアでは、データが 3 つの AZ にレプリケートされてから、オペレーションの成功が返されます。データレプリケーションはクォーラムベースであるため、ノードまたは AZ 全体が損失されても、耐久性や可用性が損なわれることはありません。さらに、メモリストア内のデータは、万が一のために Amazon Simple Storage Service (S3) に継続的にバックアップされます。クエリは、ストレージの場所を指定しなくても、階層全体における最近のデータと履歴データに自動的にアクセスして、それらを統合します。また、データの傾向とパターンをほぼリアルタイムで特定できるように、時系列固有の機能もサポートします。初期費用はなく、お支払いいただくのは、書き込み、保存、またはクエリを実行するデータに対する料金のみです。Timestream は、負荷に基づいて自動的にスケールアップまたはスケールダウンしてキャパシティを調整し、基盤となるインフラストラクチャを管理する必要はありません。Timestream は、データ収集、視覚化、および機械学習のための一般的なサービスと統合されているため、既存、および新しいアプリケーションでの使用が簡単です。例えば、AWS IoT Core、Apache Flink 向けの Amazon Kinesis Data Analytics、AWS IoT Greengrass、および Amazon MSK [...]

[Read More](#)

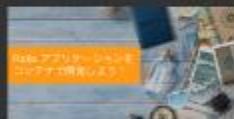


# builders.flash<sup>★</sup>

- Menu
- ピックアップ記事
- 最新記事
- 記事カテゴリについて
- リソース
- メールメンバー登録

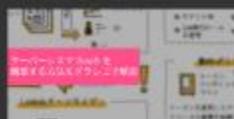
builders.flash は、日本のデベロッパーの皆様へ向けて、実践的なクラウドベストプラクティスを身近なテーマから解説する記事や、幅広い開発インタビューをお届けする AWS のウェブマガジンです。メールメンバーに登録することで限定の特典もご用意しています。

## 📧 今日のピックアップ記事



**Rails アプリケーションをコンテナで開発しよう！第2回 - Rails 用のコンテナイメージを作ってみる** »

デベロッパーのためのクラウド活用方法 | 2020-10-01



**サーバーレスで SaaS を構築する方法をグラレコで解説** »

AWS 最新ドキュメント紹介 | 2020-10-01



**Amazon Pinpoint でプッシュ通知を試してみよう！** »

デベロッパーのためのクラウド活用方法 |

**AWS のベストプラクティスを毎月無料でお試しいただけます**



# 実際の案件の内容

3月の下旬にコロナで東京がロックダウンされるかもしれない。という話が出てきました。これに関して、仮にロックダウンされたとしても通信インフラの保守の為に東京に入る必要があり、通信事業者の証明書として、要員票を発行する必要が出てきました。

既に在宅勤務に入ってる関係者もいて、紙ベースでの発行はコストが掛かるという点と管理の問題から電子化するという営みになります。

幸い東京はロックダウンされなかったもので、システムは構築して関係各所に要員票の配備だけして使われなかった案件になります。

# 開発するにあたって困った事

転職したてでterraformで利用できるリソースがなかった。  
コード(HCL)で記述してAWSのサービスを構築するツールです。  
1回つくればコピーで使いまわせる便利な物です。

要件がとにかく急ぎ

週末にAWSの認定資格試験を受けに行く予定だったので、頭の中はそっち  
でいっぱいだった



# ではどうしたか？

AWS 爆速開発 でググる



© 2020, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

In Partnership with intel.



[お問い合わせ](#) [サポート](#) [日本語](#) [アカウント](#)

[コンソールにサインイン](#)

[製品](#) [ソリューション](#) [料金](#) [ドキュメント](#) [学ぶ](#) [パートナーネットワーク](#) [AWS Marketplace](#) [カスタマー支援](#) [イベント](#) [さらに詳しく見る](#) [🔍](#)

## builders.flash

[Menu](#) [ピックアップ記事](#) [最新記事](#) [記事カテゴリについて](#) [リソース](#) [メールメンバー登録](#)

# 爆速 API 開発を実現するサーバーレス アプリケーション開発向けフレームワーク

2020-03-02

デベロッパーのためのクラウド活用方法

Author: 鈴木 哲詩



© 2020, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

In Partnership with 

# ページを読む

ChaliceというPython製のフレームワークの説明が書いてあり、出来そうな気がしてくる、今回の機能実現に一致してる感じがする。

## 気に入った点

ApigatewayとLambdaとの連携を管理無くて良い

Lambdaとの連携が他にも出来る(S3,sns,sqs...)

デプロイが簡単



# 但し、実際にやってみると

早くデプロイできるのは理解したが、イマイチ腹落ちしない感じがする。  
コンテナでflaskとかDjangoあたりでもいいのでは？との迷い

# AWS Chaliceでググる

公式ページが英語で、全部読むのは辛すぎる...

Quick Start Tutorials Samples Documentation Code Search

# CHALICE

A framework for writing serverless applications

GET STARTED

```
from chalice import Chalice

app = Chalice(app_name="helloworld")

@app.route("/")
def index():
    return {"hello": "world"}

@app.schedule(Rate(5, unit=Rate.MINUTES))
def periodic_task(event):
    return {"hello": "world"}

@app.on_s3_event(bucket='mybucket')
def s3_handler(event):
    print(event.bucket, event.key)
```

[\[full example\]](#)

 Focus on writing your application code

Focus on writing your application code instead of the resources or

 A familiar decorator based API

Chalice's API for writing serverless application uses a

 Supports multiple deployment systems

Chalice supports multiple tools to deploy your application

aws

with intel.



## builders.flash<sup>★</sup>

### 最後に

今回は AWS Chalice の概要をご紹介しました。AWS Chalice を使ってサーバーレスアプリケーションの爆速開発を体験してみたいと感じていただければ嬉しいです。

今回は概要まででしたので、ご興味を持たれて実際にご利用を検討されたいという方は是非こちらのウェビナーもチェックしてみてください。



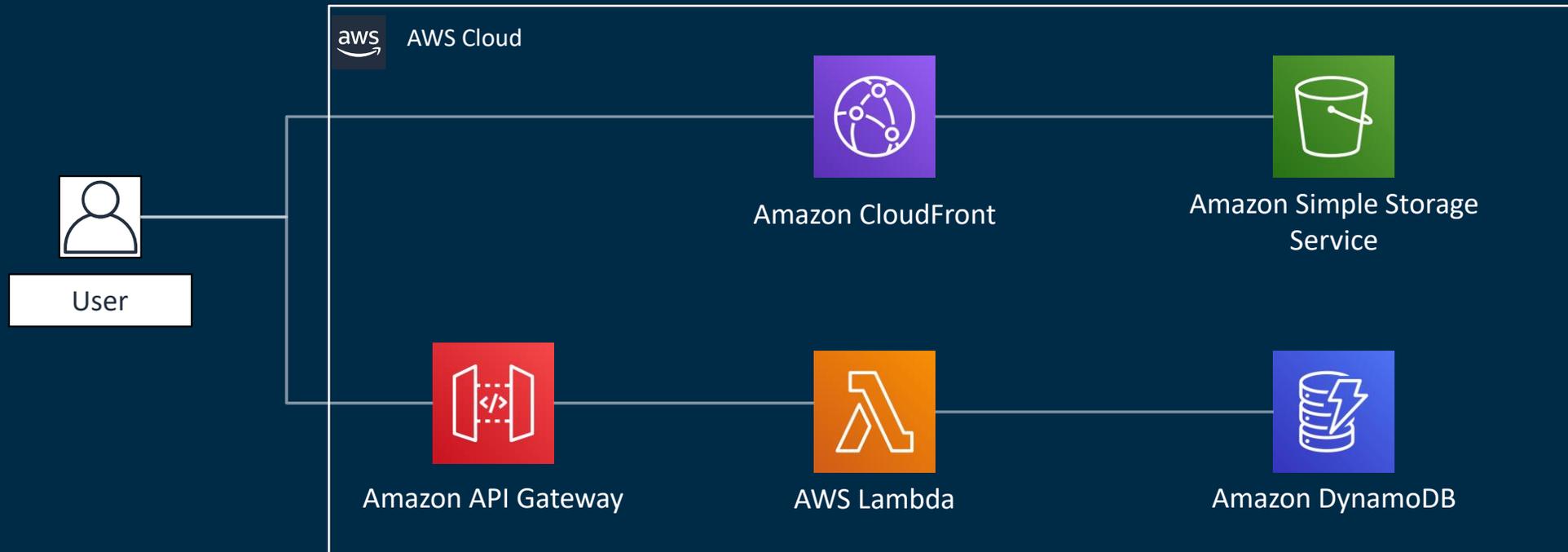
[AWS Black Belt Online Seminar] Dive deep into AWS Chalice 資料及QA公開



# アジェンダ

- **Chalice** とは
- WEB API 実装のための基本機能
- 一歩進んだ API 実装のための機能
- Amazon API Gateway 以外と連携する Lambda 関数
- さらにもう一歩先に
- 実践的開発プロセス

# 構成図



# 形で考えるサーバーレス設計

やりたいこと（ユースケース）から利用パターンへ到達できるように、ユースケース主導で紹介。アーキテクチャ主導ではないので、すべてを覚えなくてもやりたいことからスタートできます。実際、類似するアーキテクチャのものがあることに気づくでしょう。

サーバーレスを始めよう ▶ エンジニア/開発者の方へ | アーキテクトの方へ | プロジェクト責任者の方へ

代表的な実装ブロックを形（パーツ）として理解すると、それらの組み合わせによってアプリケーション全体のたたき台をイメージしやすくなります。このような考え方により応用性と開発スピードを向上させることができます。

▶ 組み合わせによるパターンデザインの例を見る

いくつかのパターンは、テンプレートから始めることができます。テンプレートベースの設定では、パターンの雛形的アプリケーションセットに加えて CI/CD 環境が一気に準備できます。詳しくは、それぞれのパターンの「テンプレートから始める」のリンクを参照ください。

## 代表的な適用シーン/ユースケースと実装形



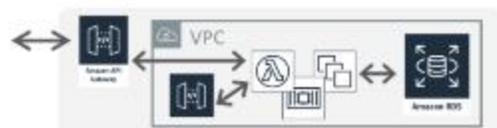
## 代表的な適用シーン/ユースケースと実装形



動的 Web / モバイルバックエンド  
[関連資料](#) | [Tutorial](#) | [Tutorial \(中級編\)](#)  
 テンプレートから始める → [こちら](#)



リアルタイムモバイル / オフライン対応  
[AWS マンガ](#) | [関連資料](#)



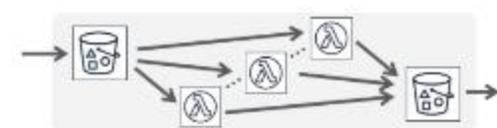
業務系 API / グループ企業間 API  
[Private API 記事](#) | [VPC Lambda 記事](#)  
[RDS+Lambda 記事](#) | [関連事例](#)



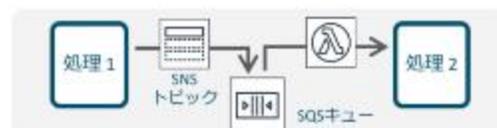
Push 配信系・インタラクティブ API  
[関連リンク](#) | [AppRepository サンプル](#)



画像処理 / シンプルなデータ加工  
[Tutorial](#) | [関連事例](#) | [Solution リンク](#)  
 テンプレートから始める → [こちら](#)



分散並列処理 (like MapReduce)  
[関連事例1](#) | [関連事例2](#) | [RefArch](#)



イベント駆動の業務処理連携  
[SQS 連携機能](#) | [サンプルコード](#)  
 テンプレートから始める → [こちら](#)



アプリケーションフロー処理  
[Tutorial \(Workflow / エラー処理\)](#)  
 短期間・高速処理のためのオプション



流入データの連続処理  
[関連資料](#) | [RefArch](#)  
[Tutorial1](#) | [Tutorial2](#)



IoT バックエンド  
[関連資料](#) | [関連事例](#) | [RefArch](#)  
[関連 Solution1](#) | [Solution2](#)



チャットボット / Alexa スキル  
[Alexa スキル開発](#) | [RefArch](#)  
[Solution リンク](#)



データ変更トリガー処理  
[活用例](#) | [Tutorial](#)

# 実際のスケジュール

- 4/2(木) 夕方システム構築依頼受ける、すぐにAWSの資料を漁る
- 4/3(金) Chalice部分、実装完了、午後からbootstrap4に苦戦する
- 4/4(土) AWS Certified Developer - Associate (DVA)の試験を受けに行く
- 4/5(日) bootstrap4の練習
- 4/6(月) 朝からbootstrap4に苦戦する
- 4/7(火) システムリリース、夕方に非常事態宣言

AWS Certified Developer - Associate	
試験結果のお知らせ	
受験者氏名: Satoshi Nagakubo	受験日: 2020-04-04
受験者 ID: [REDACTED]	登録番号: 372772050
受験者スコア: 930	結果: 合格

# その次へ

## AWS認定資格試験



© 2020, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

In Partnership with  intel.

ご清聴ありがとうございました



© 2020, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

In Partnership with intel.

K20-2027 【2010-2110】 使用期間 2020/10/16 - 2021/10/15